

平成31年2月14日開会

平成31年第1回東松島市議会定例会

# 議員総括質疑通告書

東松島市議会



## 議員総括質疑 目次

平成31年第1回定例会

順位	会派名 議員氏名	件名	頁
第1位	清風・公明 上田 勉	1 予算執行上の指針を問う	2 , 3
第2位	市民クラブ 大橋 博之	1 平成31年度予算編成について	4 , 5
第3位	清新会 滝 健一	1 平成31年度予算に関して	6

氏名	質疑事項	要旨
<p>第1位</p> <p>清風・公明</p> <p>上田</p> <p>勉</p>	<p>1. 予算執行上の指針を問う</p>	<p>市長は、平成31年度の市政執行の所信および平成31年度東松島市一般会計ならびに特別会計予算を示した。</p> <p>市政執行に当たっては、総合計画の5つの重点施策と7つのマニフェストと連動し、市民ファーストとした予算がみられる。</p> <p>以下の点について市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 復興関連事業と職員のマンパワーについて 自治体派遣の職員の減少と組織改編が事業推進と予算執行に及ぼす影響と対応策について。</p> <p>(2) 復興の加速と生活環境整備について 復興の加速・完結を優先とするとしているが、一般的な生活環境整備(ハード事業)との影響をどう捉えているか。市全体としての平成31年度の整備方針について。</p> <p>(3) 子育て支援事業について 子育て・教育環境の充実と学力向上策を重視することはもちろんであるが民生費において幼児教育無償化により、新たな育児ニーズの変化が予測される。その変化に対応するため、私立認可保育園の整備に加え延長保育の必要性が予測されるが、それらの対応策および改元に伴う4月末からの長期休日間の保育体制について。</p> <p>(4) 商工費の支援策について 宮城オルレの充実は、奥松島を中心とする誘客を加速させる。 他方、夏祭りや航空祭にかかる助成金等重視しているが矢本駅を中心とする継続的な振興策も必要である。 今年度は、改元の年でもあり新元号を祝う事業も必要である。今定例会の一般質問にもあるが広く商工振興策の予算の充実が必要である。 また、消費税引き上げに伴う対応と需要拡大のため継続して行う商品券の発行時期を早めたり、発行数の拡大等について検討すべきと思われることについて。</p>

( 5 ) 空き家対策について

単なる空き家バンク登録にとどまらず、市の行う福祉事業への活用や各自治会等各種団体が活用できる事業展開について検討すべきと思うが平成31年度の方向性について。

( 6 ) 教育環境と学力向上施策について

ハード面の予算は充実してきたが教育力向上の対策は平行して行う必要がある。

教育委員会との連携は不可欠である。体制整備の状況について。

( 7 ) 年度最終達成目標について

復興交付金事業基金、合併特例債の残高と達成率について。

( 8 ) S D G s の平成31年度末目標について

自治体 S D G s の推進に資する取り組みの2020年度ゴールターゲットは、この事業のスタートとしては、重要な位置づけとなる。

平成30年度から適時 S D G s へ反映している計画を含め、総合計画や復興まちづくり計画等に逐次反映をすることでしているが、少なくともこの2年間で市が考えている8つの地域自治組織に平成31年度 S D G s のコンセプトを付与することができ、全世代に住みよいまちのスタートラインになり得るか「子供」「若者」「高齢者」の年度末目標について。

【答弁を求める者 市長】

氏名	質疑事項	要旨
<p>第2位</p> <p>市民クラブ</p> <p>大橋博之</p>	<p>1.平成31年度予算編成について</p>	<p>本年度の一般会計予算は昨年度当初比で、42億9,900万円増の335億7,900万円となり震災復興特別交付税、各基金等の財源を最大限活用した渥美市長の持論である積極的な攻めの予算編成であると推察する。</p> <p>しかしながら平成32年度で復興庁が廃止され、復興予算が活用できなくなり独自の財源で運用していかなければならなくなる。今後の厳しい財政状況の中でどのような市政運営を実施していくのか以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1)復興事業により整備された学校関連施設、災害公営住宅および市営住宅、市民センター、地区センター等の公共施設の維持管理経費が増加していくと予想されるがその財源の根拠はどのように捉えているのか。</p> <p>(2)商工費について伺う。観光振興策において観光交流人口の拡大を目指し本市の優れた観光資源を生かしながら日本国内だけでなく、世界に発信していくための予算編成になっているのか。また企業誘致への取り組みについて、平成29年度より職員を東京事務所に派遣し、平成30年度より副市長を2名体制とし、精力的に取り組んでいると評価させていただくが、今後成果を上げるために今年度の予算にどのように反映しているのか。</p> <p>(3)本市の基幹産業である農業、漁業の振興について担い手の育成、6次産業化、ブランド化、販売体制の充実をさらに支援していくとあるが、十分な予算編成になっているのか。</p> <p>(4)本市は昨年6月15日にSDGs未来都市として選定を受けた。その後、目標として「人口減少を食い止め、地域社会・経済を成長軌道に乗せること」を目指し、今後10年間で重点的に取り組む課題として「子供・若者・高齢者の全世代にわたって住み良いまちづくり」を目指すとするが、今年度の予算にどのように反映しているのか。またリーディングプロジェクトとはどの分野になるのか伺う。</p>

(5) 市債について伺う。今年度の歳入の中で臨時財政対策債は3億7,400万円となっているが、本市の限度額はどのくらいか。また合併特例債の上限の額はどのくらいであるか。

さらに市債総額について、今後の残額の推移について、市長の方針を伺う。

(6) 歳入全体について伺う。市税総額では対前年比3.5%増と堅調である。しかし、今年度の総額は前年度当初予算と比較し、42億9,900万円、14.7%増となっているが、ほとんどが復興関連事業の予算であり、それ以外の投資的経費に当てる歳入はかなり厳しいものがあると思料する。今年度も財政調整基金より4億1,390万円が取り崩しされている。この現状であれば数年で枯渇してしまう心配がある。今後の歳入、歳出のバランスをどのように図っていくか、市長の所見を伺う。

【答弁を求める者 市長】

氏 名	質疑事項	要 旨
<p>第3位</p> <p>清新会 滝健一</p>	<p>1.平成31年度予算に関して</p>	<p>(1)今年度10月1日から消費税が2%引き上げされる。予算執行上の影響について、どのように把握しているか。</p> <p>(2)震災後、市民税の納税義務者数の回復の推移について。</p> <p>(3)国の復興期間は平成32年度末で終了する。復興に向けた事業予算を優先して編成しているが、当初予定した事業の進捗に遅れが生じた場合、その対応をどのように考えるか。</p> <p>(4)教育環境の整備関連費が措置されている。学力向上につなげるための手法をどのように考えているか。</p> <p>(5)国庫支出金、総額で前年対比149.1%の40億5,973万3千円となっている。執行に万全を期すべきである。その取り組みは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



